

# 千葉美容専門学校

学校自己評価報告書

(平成 30 年度)

## 目次（評価項目一覧）

### 1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか

### 2. 学校運営

- 目的に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った、事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか
- 人事、給与に関する規定などは整備されているか
- 教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 教育活動などに関する情報公開が適切になされているか

### 3. 教育活動

- 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか
- 美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか
- 人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修は行われているか

#### 4. 学習成果

- 就職率の向上はなされているか
- 美容師資格の取得はなされているか
- その他美容関連の資格取得はなされているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

#### 5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理の支援体制は整備されているか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援体制はあるか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか

#### 6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
- 学校外の実務実習、インターンシップの体制は整備されているか
- 海外研修などの実施の体制は整備されているか
- 防災に対する体制は整備されているか

#### 7. 学生募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか
- 学費は妥当なものとなっているか

#### 8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務に関する会計監査は適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできている

## 9. 法令などの遵守

- 法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価を公開しているか

## 10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極定期に行われているか

### 1. 教育理念・目標

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3

#### 現状

本校は、教育基本法並びに美容師法の精神に則り、生徒の個性に応ずる専門教育を施すことはもちろん、技術面においても、最も優れた美容師として、社会的責務の遂行をはかり、公衆衛生の維持増進に寄与し、かつ、人格的にも堅実、有能な美容師を養成することを目的とする。

本校は、千葉県下に2,500店もの美容室が加盟する千葉県美容業生活衛生同業組合を母体に、次世代を担う後継者を養成するために設立された美容専門学校です。

業界に役立つ人材を育てることを柱に、「学生に夢を与える」「幅広い資格取得を支援する」「学生の望む就職をさせる」という三つの教育方針を掲げ、プロとしての技術や知識を指導するだけでなく、組合サロンの協力を得て実務実習を行うことなどにより、学生一人一人の自立心と向上心を高めることを目的としています。

#### 課題と改善点

- 本校は、千葉県内の美容室経営者が集まりである千葉県美容業生活衛生同業組合が設立母体である関係上、美容師の資格が取得できる「美容科」しかない、単科専門学校であります。従って将来構想においても、社会のニーズが変化しても、美容師という制約の

中でしか将来構想を抱けません。しかし、逆に「美容師」の養成に特化する学校として生き残っていくべきであろう。

- 保護者への周知については、まだ不十分である。今後の課題です。

## 2. 学校運営

評価 適切…… 4 ほぼ適切…… 3 やや不適切…… 2 不適切…… 1

評価項目	採点
目的に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか	4
人事、給与に関する規定などは整備されているか	4
教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	3

### 現状

- 運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、これを教務会議・学年会議を通して、周知徹底している。
- 学校運営組織は、校長をトップに教頭、教務主任、学年主任がこれを補佐する形で運営されている。
- 人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

### 課題と改善点

- 学校運営においては校長がこれを行うが、学校経営は組合の理事会が行い、トップは選挙で選ばれた理事長である。理事及び理事長には任期もあり、長期的な視野にたった経営が難しい体制である。
- 教育活動に関することについては、本校のHP等により情報公開に努めているが、十分とはいえず一層の充実をはかり改善したい。

## 3. 教育活動

評価 適切・・・ 4 ほぼ適切・・・ 3 やや不適切・・・ 2 不適切・・・ 1

評価項目	採点
教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	4
美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか	3

成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4
人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	4
職員の能力開発のための研修は行われているか	3

### 現状

- 組合理事の委員と校長と教頭が参加する学校委員会（教育課程編成委員会）があり、この委員会が学校行事やカリキュラム、教科科目の見直しなどを行っている。
- 千葉県内の美容室経営者が学生指導のバックアップをしてくれており、学校内の授業だけでなく美容室の現場に行き、学習する実務実習（インターンシップ）を行い、より実践的な教育を行っている。
- 授業評価については、3 学期制を行っており、学期ごとに各教科・科目の成績と単位認定をしており、進級・卒業判定は明確に定められている。
- 資格取得については、特に美容師資格の取得については、これが美容専門学校の最大の目的でもあるので、カリキュラム上でも重点科目となっている。また、他の資格取得についても対策指導を行い、学生の取得を奨励している。
- 教員の資質向上については、日本理容美容教育センターや関東地区養成施設教職員研修協議会が実施する研修会や学習会に積極的に参加を奨励している。

### 課題と改善点

- 法律上、現状の美容師養成施設において学ばなければならない教科科目と、今の美容師試験の受験科目が現在の美容業界が求める人材と乖離しており、この点での改善を図りたい。

●平成 30 年 4 月 1 日より美容師養成施設指定規則が改正され、美容師養成施設の授業科目や授業時間が以下のように変更になりました。

現行			改正後		
科目名	単位	時間	科目名	単位	時間
関係法法規・制度	1	30	関係法法規・制度	1	30
衛生管理	3	90	衛生管理	3	90
美容保健	4	120	保健	3	90
物理化学	3	90	化粧品化学	2	60
美容文化論	3	90	文化論	2	60
美容技術理論	4	120	美容技術理論	5	150
美容運営管理	2	60	運営管理	1	30
美容実習	27	810	美容実習	30	900
必修科目計	47	1,410	必修科目計	47	1,410
選択科目	20	600	選択科目	20	600
合計	67	2,010	合計	67	2,010

●この改正により本校の授業時間を 50 回生より、以下のように変更します。

科目名	現行			改正後		
	1年	2年	合計	1年	2年	合計
関係法規・制度	20	10	30	20	10	30
衛生管理	30	60	90	30	60	90
保健	60	60	120	30	60	90
化粧品化学	60	60	120	30	30	60
文化論	30	60	90	30	30	60
美容技術理論	60	60	120	60	90	150
運営管理	30	30	60	20	10	30
美容実習	520	320	840	660	300	960
選択科目	144	508	652	210	400	610
合計	954	1,168	2,122	1,090	990	2,080

●美容師筆記試験科目は、今までは関係法規・制度、衛生管理、美容保健、物理化学、美容理論の 5 科目であったが、来春入学する 50 回生の受験（第 41 回美容師試験）からは、文化論と運営管理が新しく美容師試験科目に追加される。

#### 4. 学習成果

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
就職率の向上はなされているか	4
美容師資格の取得はなされているか	4

その他美容関連の資格取得はなされているか	4
退学率の低減が図られているか	1
卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

## 現状

### ●最近の当校における生徒入学数・卒業者数・退学数・就職者数（昼間生）

年度	入学者数	卒業者数	退学数	休学数	就職者数
22年度生	125名	106名	16名	2名	103名
23年度生	137名	116名	20名	1名	114名
24年度生	118名	112名	5名	(通信に転入1名)	108名
25年度生	117名	105名	11名	(通信に転入2名)	102名
26年度生	92名	79名	13名	0	78名
27年度生	75名	68名	7名	0	66名
28年度生	88名	84名	2名	2名	82名
29年度生	83名		13名	1名	
30年度生	80名		11名		

### ●最近の当校における美容師試験合格率（卒業生は全員が受験）

平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
92.8%	95.3%	81.0%	87.4%	96.2%	93.7%	92.6%	92.9%

### ●美容師資格の取得以外でも各種検定の取得を積極的に奨励している。

#### 28年度検定取得状況

サービス接遇検定		カラー検定	メイク検定	ネイル検定	フェイシャルエステ検定	色彩検定	
2級	3級	レベルI	レベルI	3級		2級	3級
3名	32名	29名	10名	5名	7名	3名	14名

●卒業生については同窓会が組織され、1年おきに総会・懇親会を実施しており、親睦と卒業生の動向把握に努めている。

また、今年度直近の3年間の卒業生にアンケートを郵送し、卒業後の動向の調査を行なった。

## ●通信生の状況

年度	2011年度生	2012年度生	2013年度生	2014年度生	2015年度生	2016年度生	2017年度生	2018年度生
入学者数	62名	44名	49名	43名	52名	34名	38名	31名
卒業者数	41名	25名	37名	29名	35名			
美容師試験合格率	66.7%	70.8%	64.9%	79.3%	45.7%			

## 課題と改善点

- 昼間生・通信生とも入学生が減少傾向にあり、体験入学・入試方法の改善などを行い、増加に努めている。
- 退学率は回生によって増減があるが、今の在學生である49・50回生は過去にない退学数になっており、問題である。問題の早期発見に努め、低減したい。
- 美容学校は、美容試験に合格することは当たり前と考えていたが、最近では100%には届かない状況である。なんとか95%以上の合格率に近づけたい。  
また、通信課程の合格率も近年順調に上がってきたものが、今年は50%も切っ  
てしまっており、全国の合格率より悪くなってしまった。スクーリングやり方  
も考えていきたい。
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用につ  
いては今後の課題である。

## 5. 学生支援

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援体制はあるか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

## 現状

- 進路・就職相談については、担任が窓口になり、本人の希望や業界とのマッチン  
グに努めている。また、校内において就職ガイダンスを実施し、多数の美容室に

学校に来校してもらい、直接に美容室と学生を合わせ就職活動の一助にしている。

### 最近の卒業生数と就職者数

年度	22年度生	23年度生	24年度生	25年度生	26年度生	27年度生	28年度生
卒業生数	106名	116名	112名	105名	79名	68名	84名
就職者数	103名	114名	108名	102名	78名	66名	82名

卒業生で就職を希望している学生は、全員が就職している。就職先としては、殆どの学生は美容室に就職し、少数が化粧品会社・エステサロン・ネイルサロンである。また、美容室においては8割がた県内に就職している。

●入学後、経済的事情により学業継続が難しい学生に対して、奨学金を貸与している。

- ・名称 千葉美容専門学校奨学金
- ・貸与金額 1年次後期から貸与し、半期授業料・実習費を貸与する。最大3期までとする。
- ・返済 49回生から学費値上げのため、卒業後月に11,000円ずつ返済。  
千葉県内の組合店美容室に就職した場合、半期のみ借りた者は2年間、最大3期分借りた者は6年間返済すれば後の返済は免除する。

### 最近の貸与状況

年度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
	前期	後期												
貸与実績	1名	2名	4名	3名	1名	2名	0名	3名	3名	3名	2名	1名	1名	3名

### ●入学金免除制度

入学希望者が次のような方の場合には、入学金150,000円が一部免除する制度です。

- ・千葉県美容業生活衛生同業組合の組合員の兄弟、子、孫 7万5千円
- ・同組合の加盟店従業員（保健所に届出済）の兄弟、子、孫 5万円
- ・千葉美容専門学校（昼間課程）卒業生または在校生の兄弟、子、孫 5万円
- ・県内組合店美容室から推薦を受けた方 7万円  
(28年度までは3万円)
- ・指定校推薦入試で合格された方 7万円
- ・特待生として一般入試の筆記試験成績により
  - A特待生 15万円
  - B特待生 10万円
  - C特待生 5万円

- 経済的支援については、特待生制度や千葉美容専門学校奨学金制度を活用し支援している。
- 体育館を借りて、ドッジボールやフットサルを行った年もあるが、今年の1年生はボーリング大会を行なった。
- 校内だけでなく校外の美容技術コンクールを目指すためのクラブ活動を放課後実施している。多数の学生が入賞している。

#### 全国理容美容学生技術大会関東地区大会入賞者

	2012年	2013年	2014年	2015	2016	2017	2018
開催場所	山梨県	神奈川県	群馬県	茨城県	神奈川県	神奈川県	神奈川県
入賞者数	9名	9名	3名	0	4名	7名	7名

その他の技術大会としては、千葉県美容学生技術大会ではワインディング部門、ヘアカット部門、ネイル部門などで5名が入賞。東京国際ビューティフェスティバルでは国際大賞入賞、十二章会技術大会学生ワインディング部門優勝など参加希望の学生に指導し、多数の学生が入賞している。

- 欠席が多い学生の保護者に連絡し、保護者との面談も実施している。また、その程度によって、学年主任、校長との面談も行っている。  
ただし、出席率の改善が必要である。
- 単位未習得の学生には夏休・冬休・春休の長期休業中、ないしは卒業式後に補講を実施し、進級・卒業認定の支援としている。
- 千葉県専修学校協会と連携し、夏休み期間に学びの場（2日間）という講座を設けている。
- 2年次の4月から10月までに生徒自由選択科目として、7科目から1科目を選び、授業を行っている。

#### 平成30年度（49回生）選択状況

科目	着付	カラー	ヘア	ネイル	メイク	アイラッシュ	エステ
人数	0名	29名	15名	6名	10名	12名	0

#### 課題と改善点

- 社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備については、今後の課題である。

## 6. 教育環境

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
学校外の実務実習、インターンシップの体制は整備されているか	5
海外研修などの実施の体制は整備されているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

### 現状

●実務実習については、組合美容室の協力により、毎年1年2年次の夏休み・1年次春休みに5日～7日間1店舗に一人ずつ違う店舗にて実施している。

●本校では毎年パリやロンドンにヨーロッパ研修を行ってきたが、最近のテロ事件により中止になったり、昨年はヨーロッパの代わりにロサンゼルス研修を行ってきました。

今年はヨーロッパでもイタリアでの研修を実施することにしました。今回の参加予定者は、25名です。経済的な事情で参加が難しいのであろうが、以前は7～8割が参加していました。

### 課題と改善点

●施設・設備については今の教育を実施する上では充分だが、今後の社会の変化によって、必要な施設や設備を増やすだけの余裕がない。

●防災設備は整えており、非常食、非常飲料も備えている。また、防災計画はあるが避難訓練等は年に1回しか実施しておらず充分ではない。

## 7. 学生募集

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学生募集活動は適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	4
学費は妥当なものとなっているか	4

### 現状

●千葉県内美容師養成施設への昼間課程生徒入学数

学校名	定員	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
千葉美容専門学校	120名	92名	75名	88名	83名	80名
東洋理容美容専門学校	160名	119名	117名	76名	100名	127名
パリ美容専門学校千葉校	80名	68名	55名	50名	47名	40名
パリ美容専門学校柏校	120名	119名	78名	91名	120名	78名

ユニバーサルビューティーカレッジ	120名	72名	34名	34名	40名	60名
ジェイヘアメイク専門学校	80名	45名	32名	65名	74名	54名
東京ベイカレッジ	35名	—	—	—	—	12名

県内の美容学校数が30年度から1校増え、7校になった。専門学校でなく、美容室経営者が同業組合として設立した美容師養成校である。首都圏ではこの形式の学校が増えてきている。

●入学案内書及び募集要項を毎年作成し、3月から8月までは、月2回は体験入学を定員20名で実施し、千葉県民の日にはオープンカレッジ、9月からは学校説明会、と体験入学、入学個別相談会などを夏休み以外は土、日曜日に実施し募集活動に努めている。

#### 平成30年度の体験入学参加人数

28年度	月日	3/26(土)	4/16(土)	5/1(日)	5/14(土)	5/28(土)	6/15(水)	6/25(土)	7/9(土)
	参加人数	13名	19名	14名	11名	23名	21名	24名	12名
29年度	月日	3/25(土)	4/15(土)	4/29(土)	5/13(土)	6/3(土)	6/15(木)	6/24(土)	7/8(土)
	参加人数	17名	7名	7名	14名	18名	11名	35名	13名
30年度	月日	3/24(土)	4/14(土)	4/28(土)	5/12(土)	5/26(土)	6/2(土)	6/15(金)	6/23(土)
	参加人数	6名	13名	10名	14名	18名	19名	15名	20名
28年度	月日	7/18(月)	7/27(水)	8/5(金)	8/19(金)	8/26(金)	9/11(日)	9/25(日)	10/1(土)
	参加人数	28名	15名	30名	29名	24名	17名	10名	5名
29年度	月日	7/17(月)	7/27(木)	8/4(金)	8/18(金)	8/25(金)	9/30(土)	10/7(土)	10/14(土)
	参加人数	32名	36名	32名	36名	24名	13名	5名	7名
30年度	月日	7/7(土)	7/16(月)	7/27(金)	8/9(木)	8/20(月)	8/29(水)	9/15(土)	9/29(土)
	参加人数	5名	12名	29名	27名	24名	37名	17名	4名
28年度	月日	11/5(土)	12/3(土)	1/6(金)	2/4(土)				
	参加人数	5名	7名	11名	14名				
29年度	月日	10/28(土)	11/3(金)	11/11(土)	12/2(土)	1/20(土)	2/10(土)		
	参加人数	0名	2名	1名	4名	4名	17名		
30年度	月日	10/8(月)	10/13(土)	11/3(土)	11/10(土)	12/1(土)	12/15(土)	1/7(土)	1/19(土)
	参加人数	7名	7名	3名					

2/9(土)

- 説明会やHPにより、在校生・卒業生の教育成果を正確に伝えるよう努めている。
- 募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。1998年度美容学校が2年制になってから、学費の値上げをしていなかったが、2017年度から学費の値上げを行なった。

## 課題と改善点

- 学生募集活動は積極的に行っているが、定員に達していない状態が続いている。今後活動の方法を模索している。体験入学の方法、入試の方法の多様化を実施している。
- ホームページを刷新しスマホ対応になり、体験入学などへの申し込みが楽になった。

## 8. 財務

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

## 現状

### 平成29年度収支決算の細目

### 損 益 計 算 書

自 平成 29年4月 1日

至 平成30年3月31日

(△印は減)

養成事業収入	決算額(税込)	予算額(税込)	対比増減
1. 美容学校事業収入			
入学検定料	2,400,000	3,200,000	△ 800,000
入学金	13,490,000	15,700,000	△ 2,210,000
授業料	87,163,285	89,258,000	△ 2,094,715
実習料	34,200,000	36,690,000	△ 2,490,000
施設資金収入	24,665,700	25,113,000	△ 447,300
補講料	1,893,000	1,050,000	843,000
計	163,811,985	171,011,000	△ 7,199,015
2. 補助活動収入			
斡旋教材料	34,009,821	33,500,000	509,821
教科書収入	1,602,730	1,850,000	△ 247,270
受取手数料	383,156	400,000	△ 16,844
雑収入	726,278	800,000	△ 73,722
補助金収入		0	0
計	36,721,985	36,550,000	171,985

養成事業収入の部計	200,533,970	207,561,000	△ 7,027,030
事業費及び一般管理費	162,494,544	164,620,000	△ 2,125,456
事業外支出	6,820,717	6,441,000	379,717
養成事業支出の部計	169,315,261	171,061,000	△ 1,745,739
当期養成事業利益	31,218,709	36,500,000	△ 5,281,291
賞与引当金戻入	8,000,000		
修繕準備引当金戻入	1,405,500		
特別利益計	9,405,500	0	9,405,500

養成事業費、一般管理費及び事業外支出の明細

養成事業費及び一般管理費	決算額(税込)	予算額(税込)	対比増減
会議費	286,905	440,000	△ 153,095
通信費	966,610	1,000,000	△ 33,390
水道光熱費	3,323,426	3,300,000	23,426
県内行動費	226,295	330,000	△ 103,705
県外行動費	887,716	1,200,000	△ 312,284
出勤実弁費	224,600	350,000	△ 125,400
交際接待費	120,080	80,000	40,080
新聞図書費	10,358	130,000	△ 119,642
印刷費	3,098,206	3,500,000	△ 401,794
消耗品費	3,389,797	1,300,000	2,089,797
事務用品費	985,319	500,000	485,319
研修費	43,000	200,000	△ 157,000
教材費	111,699	200,000	△ 88,301
斡旋教材費	29,183,757	30,150,000	△ 966,243
		12,500,000	
広告宣伝費	12,023,852		△ 476,148
衛生費	2,131,423	2,100,000	31,423
会場費	474,418	700,000	△ 225,582
修繕費	2,693,784	1,800,000	893,784
整備管理費	1,717,393	1,600,000	117,393
教育センター費	4,865,196	5,000,000	△ 134,804
負担金	397,400	350,000	47,400
賃借料	731,524	1,300,000	△ 568,476
支払保険料	456,503	400,000	56,503
福利厚生費	406,178	450,000	△ 43,822

支払手数料	275,400	300,000	△ 24,600
雑費	530,953	400,000	130,953
業務委託費	243,180	1,000,000	△ 756,820
講師報酬	8,556,717	8,300,000	256,717
給料	51,510,999	51,260,000	250,999
賞与	13,129,650	13,100,000	29,650
諸手当	5,080,154	6,000,000	△ 919,846
旅費交通費	2,712,998	2,750,000	△ 37,002
法定福利費	10,763,054	11,630,000	△ 866,946
奨学金	0	0	0
退職共済金	936,000	1,000,000	△ 64,000
事業費及び一般管理費計	162,494,544	164,620,000	△ 2,125,456
事業外支出			
補助金	2,103,571	1,500,000	603,571
租税公課	1,049,400	1,000,000	49,400
予備費	0	141,000	△ 141,000
減価償却費	3,636,278	3,800,000	△ 163,722
繰延資産償却費	31,468	0	31,468
事業外支出計	6,820,717	6,441,000	379,717

## 貸 借 対 照 表

平成 30 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債・純 資 産 の 部	
科 目	借 方	科 目	貸 方
I 流動資産		I 流動負債	
現金	1,605,395	未払金	7,228,309
普通預金	174,167,151	前受金	70,016,489
定期預金	41,000,000	預り金	3,412,250
納税準備積立金	4,480	納税準備金	6,706,200
退職給与積立金	939,129	未払消費税	577,500
特別積立金	20,019,032	賞与引当金	8,000,000
預け金	1,190	流動負債計	95,940,748
商品	459,396	II 固定負債	
貯蔵品	3,178,123	借入金	6,750,000
立替金	7,020	退職給与引当金	17,838,300
未収金	905,276	修繕準備引当金	133,879,192
前払費用	2,589,040	固定負債計	158,467,492
奨学金	5,610,000		

流動資産計	250,485,232	負債計	254,408,240
II 固定資産			
1 有形固定資産			
建物	120,613,163	III 資本金	73,360,000
設備	26,022,687	IV 資本準備金	1,633,100
車輛運搬具	2	V 法定準備金	41,936,500
什器備品	898,203	VI 特別準備金	608,946,000
繰延資産	82,418	VII 退職準備金	20,600,000
土地	553,000,000	VIII 剰余金	
有形固定資産計	700,616,473	繰越利益剰余金	△ 34,077,536
2 無形固定資産		当期利益金	△ 4,421,295
電話加入権	74,984	剰余金計	△ 38,498,831
車輛リサイクル	18,320		
無形固定資産計	93,304		
3 投資等		純資産合計	707,976,769
有価証券	10,000,000		
出資金	1,090,000		
保証金	100,000		
投資等計	11,190,000		
固定資産計	711,899,777		
資産合計	962,385,009	負債及び純資産合計	962,385,009

●会計監査は適正に実施している

課題と改善点

- 会計報告は毎年、千葉県衛生指導課に報告しているが、また、自己評価としてHP上にも掲載している。

9. 法令などの遵守

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3

自己評価を公開しているか	3
第三者評価をおこなっているか	1

### 現状

- 美容師法、専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。  
個人情報に対しては、十分に注意し、職員にも指導している。
- 自己評価については、就職・資格など自己評価を行い、これをHP上で公開している。

### 課題と改善点

- 第三者評価はまだ行ってない、今後の課題である。

### 10. 社会貢献・地域貢献

評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	2
学生のボランティア活動を奨励、支援をしているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極定期に行われているか	2

### 現状

- 学生のボランティア活動については、千葉県美容師が行う、ボランティア活動などに積極的に参加している。
- 地域のお祭りや行事に学生や職員が積極的に参加している。

### 課題と改善点

- 本校の校舎が、千葉県美容会館ともなっているため、県内の美容師のための講習会などには使用しているが、地域住民や社会には貢献していない、今後は方法を考えたい。